

## AI時代の社会に向かって自己を鍛え抜く 校長 佐藤 健



小中学生対象の進路講話で発表する3年生徒

12月10日(月)今年もえりも中学校で進路の決まった高校3年生4名による、中学生と小学校6年生対象の進路講話が行われました。講話の中で北海道医療大学進学決定の生徒からは「気になることは全力で調べる、あこがれの気持ちを持つ、自分にしかできない強みを作る」ことが大切、王子病院附属看護学校進学決定の生徒からは「思っていることを伝えることや時間の上手な使い方など、苦手だったことを努力の積み重ねであきらめず克服して自信を持つことができるようになった」こと、また石屋製菓就職決定の生徒からは「挨拶や礼儀、身だしなみは普段からきちんとしていること、あと勉強はわからないことはそのままにしないで先生や友達に聞いたりしながら、克服する習慣をつけること」が大切、えりも町役場就職決定の生徒からは「普段の生活の中で授業や挨拶や礼儀、やりたいことを調べる等は大切、また時として達成したいことを実現するためもう一方は我慢するトレードオフの精神で頑張ってきた」、という話をしてもらいました。

いずれもちょっと答えを覚えて間もなく忘れてしまうような知識ではなく、「ローマは1日にしてならず」と言われるように、毎日の生活の中で少しずつ努力して積み重ねることによって身に付く、自分自身の「資質・能力」の開発を本当に大切に感じ実行してきたんだな、その経験で学んだことについて伝えてくれたんだなと思ひ感心しました。また、それぞれ、努力の途上で、「あこがれの気持ちを持つ」、「自信を持つことができた」、「きちんとする」、「トレードオフの精神で」というように、知識だけでなくいろんな感性の成長も伴っていると考えられる言葉が、随所に見受けられると思ひました。それで、これらはちょっとやそっとのことでは、壊れるものではないぞという強さも感じました。

こういった言葉はコンピュータが理解できる数式に置き換えることは難しく、コンピュータが将来これらのようなことを経験から学ぶようになるとは考えにくいでしょう。今は「ディープラーニング」と言ってコンピュータ(AI)も学習し、話題となる時代ですが、今のところコンピュータの学習は人間の学習と大きく異なっているそうです。(月間「日本教育12」AI特集)コンピュータは将棋等のルールがはっきり決まっているものは学習できますが、ルールがはっきりしていないものに対して学習することはできません。経験を通して一定のルールの中では何がベストかを考えることはできても、ルールがないところで何が一番いいかを考えることはできない。通常的生活の中で、いろんな人間的・社会的要素が混在している状態で、結局どうなんだと判断するパースペクティブ(全体の展望)が苦手とされています。今後もそれは無理と言っている研究者は多いようです。

しかし、安心はできない。新井紀子さんという数学者が「AI vs 教科書が読めない子どもたち」という本の中で、「将来AIが人間の仕事を奪い失業する人が増える。新たな仕事が増えるかもしれないが失業した人々がその仕事に就くためには、AIにはできないような仕事をできなければならない。その仕事としていい例は読解力に関係することだが、今の子どもたちも多くがそれを苦手とする。」ということを述べています。読解はそれを表現した作者が何を伝えたいか知ることです。作者の表現した知識や情報だけでなく、作者の人間性も読み取ることが必要と考えられますが、マナーや道徳など人間であれば当たり前前と思っているようなことが文字で表現されていない等、読み取り方について最初からルールを明確にすることは不可能に近いと思ひます。それはその都度、読んでみなければわからないというものでしょう。

えりもの生徒たちには、今後是非、人生と社会全体を読解する努力を続けてもらい、毎日大切に研鑽を積んで、来るべき将来で活躍できるベストな自分を選択していつてもらいたいと思ひます。

さて、進路講話をした4名の生徒だけでなく、今年度も、えりも高校3年生の進路は続々と決まってきました。町内就職では、えりも漁業協同組合(4名)、龍昇、丸義盛運水産、公務員ではえりも町役場(1名)、大学でも、大東文化大学、藤女子大学、旭川大学、北海道医療大学、北海学園大学2名、札幌市立大学など、それぞれが自分の希望をかなえています。これからも、就職試験と受験シーズンは3月まで続きます。高校としても、生徒たちの願いがかなうように引き続き後押しをしていこうと思ひます。平成31年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



小中学生対象の進路講話全体の様子

## ■ 薬物乱用防止教室



1月30日(金)4時間目に札幌方面浦河警察署より刑事・生活安全課生活安全係巡查部長の熊谷光騎様が来校し「薬物乱用防止・防犯教室」が行われました。薬物依存の恐ろしさについて薬物の名前や中毒性について説明がありました。薬物中毒患者は体がどのような状態になっても、薬物をやめることが難しいと画像を用いて説明していただきました。

最後に、生徒会長の中村優花さんは、「薬物の危険性や怖さを学んだことで薬物乱用について深く考えるいい機会となりました。薬物が簡単に入手できるようになってきていますが、軽はずみな考え方や行動で絶対に使用しないようにします。」と挨拶してくれました。

## ■ スーツ着こなし講座3学年

1月27日(金)6時間目に洋服の青山静内店の阿部良輔さまが来校し、3年生25名を対象に卒業後の社会生活に役立てるためのスーツの着こなしを学び、社会人となる意識を高めることを目的としてスーツ着こなし講座が実施されました。

講座に参加した村田侑哉君は、「社会人の第一歩として服装マナーについて細かい部分まで気を付けることが大切だと思います。」石川淳基君は、「スーツの着方や色、ネクタイの結び方など、就職の時の服装マナーについて知ることができました。今回の講座を受け、将来へ向けての心構えを養えました。」田中菜々美さんは、「スーツの着方について理解できました。将来の役に立てたいと思います。」と感想を述べてくれました。3年生は登校日数もわずかになりました。社会に出る心構えを新たに、残りの学校生活を過ごして欲しいと思います。



## ■ 出張! 駒踊り 1学年

1月28日(土)に浦河町のわらしべ園での餅つき行事に1年生有志10名が駒踊りを披露してきました。わらしべ園には本校卒業生が就職しており、依頼を受けての「出張駒踊り」となりました。1年生の田中恵菜さんは「皆さん喜んでくださって楽しく発表することができました。人数が少ない中、精一杯踊りました。また、機会があれば披露したいです。」と笑顔で話してくれました。



## 1月の行事予定

1月17日	木	全校集会・大掃除	1月31日	木	予餞会
1月8日(火)～11日(金)		1～3年冬期講習			
1月19日(土)～20日(日)		大学入試センター試験			
1月24日(木)～28日(月)		3学年学年末考査			



※12月29日(土)～1月4日(金)は学校閉庁日となります。緊急連絡が必要な場合は、町教委(2-25 25まで)お願いします。